

国語教育特別講演会

これから求められる 国語力・論理力

講師 東京大学大学院教授 野矢茂樹 先生

2018年3月17日 13:30~16:30

和光大学 J棟 201教室

入場無料

大学入試改革、人工知能技術による
社会構造の変化……
いま、学生・社会人に求められる
国語力のあり方が大きく問われています。
これからの国語教育がどうあるべきか、
一緒に考えてみませんか？



主催：これからの国語教育を考える会

司会者：小関和弘・堂前雅史（和光大学）、中村龍一・高村夏輝（松蔭大学）

「これから求められる国語力・論理力」

高校国語のカリキュラム改訂、大学入試のいわゆる「新テスト」の試行版の公開、「リーディングスキルテスト」の衝撃の結果……。いま、学生に求められる国語力が、文学や評論を読み筆者の心情や主張を深く読み取ることから、基本的な文法・論理の能力を活用して実務的な文章の客観的内容を読み取ることへと大きく変わろうとしています。この状況に、私たちはどのように対応すればよいのでしょうか。この悩ましい問題を考えていく一助として、日本における論理教育の第一人者であり、教科書作成にも参加されている野矢茂樹先生にご講演いただきます。

国語教育、論理トレーニングに興味をお持ちの方々の参加をお待ちしております。

講師紹介

野矢茂樹（のや・しげき）

1954年 東京都生まれ。東京大学大学院総合文化研究科教授（哲学）。

著書に、『新版 論理トレーニング』（産業図書）、『哲学航海日誌』（春秋社/中公文庫）、『心という難問—空間・身体・意味』（講談社、和辻哲郎文化賞）、『大人のための国語ゼミ』（山川出版）など多数。多くの国語教科書に文章が採用され、また東京書籍の中學国語教科書の編集委員も務める。

会場の和光大学へは、鶴川駅北口からのスクールバス利用が便利です。

講演会に参加される方は、12時40分発のバスの利用をおすすめします。



講演会終了後、簡単な懇親会を開きます。

参加を希望される方は、高村 (ntakamura@shoin-u.ac.jp) までお申し込みください。